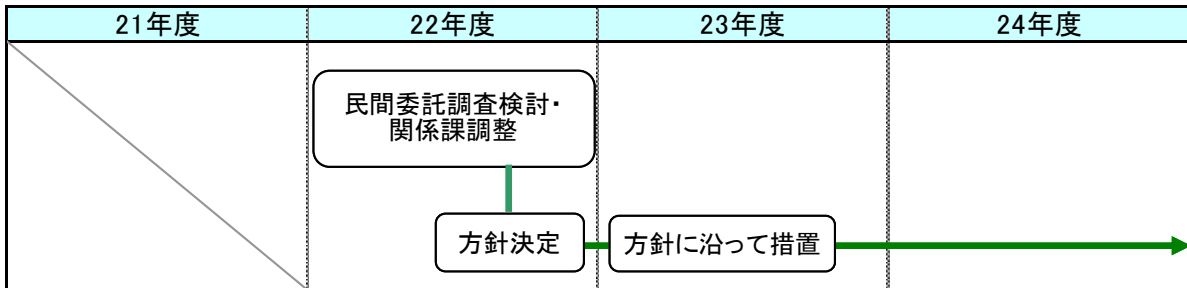


民間委託可能業務及び公共施設の管理運営の方向性について

I 民間委託可能業務の方向性について

1 税滞納者催告業務【納税課・健康保険課】

【取組工程表】

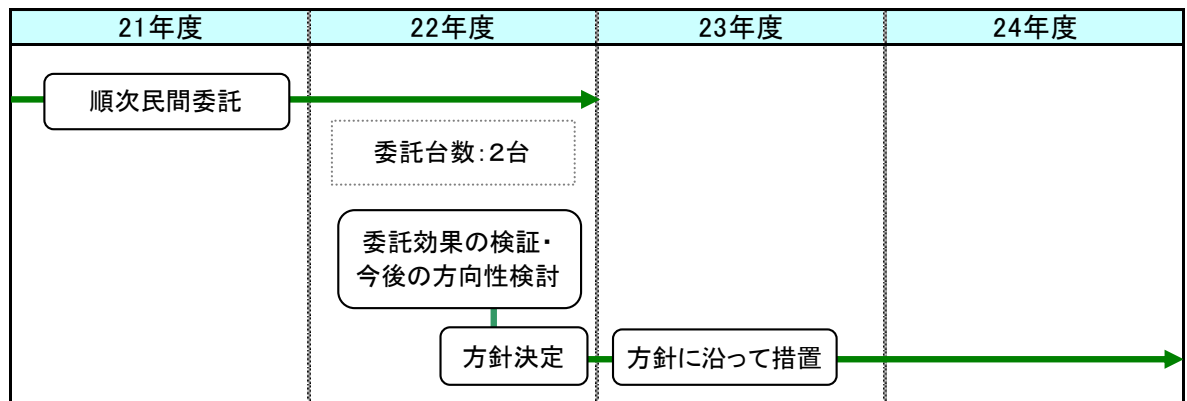


【進捗状況】

玉山総合事務所に盛岡市納税推進センターを設置し、運営を民間委託することとした。平成 23 年 10 月 3 日から業務を開始した。

2 家庭系可燃ごみ収集業務【資源循環推進課】

【取組工程表】



【進捗状況】

平成 22 年度に決定した方針に基づき、23 年度及び 24 年度は各 2 台の委託を実施した。

3 ごみ焼却業務【クリーンセンター】

【取組工程表】

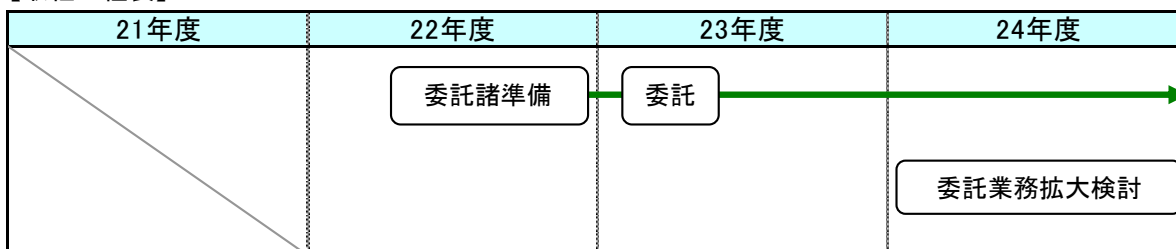


【進捗状況】

平成 22 年度から当直班の一部を委託した。運転管理に係る研修を定期的に行い技術の伝承に努めており、引き続き安定燃焼確保のため年間を通し細かな情報提供に努める。今後、委託効果やごみ質の変動による燃焼管理への影響などの検証を行ないながら、委託拡大の時期や運転管理体制について検討を進める。

4 米内浄水場(夜間)運転管理業務【浄水課】

【取組工程表】

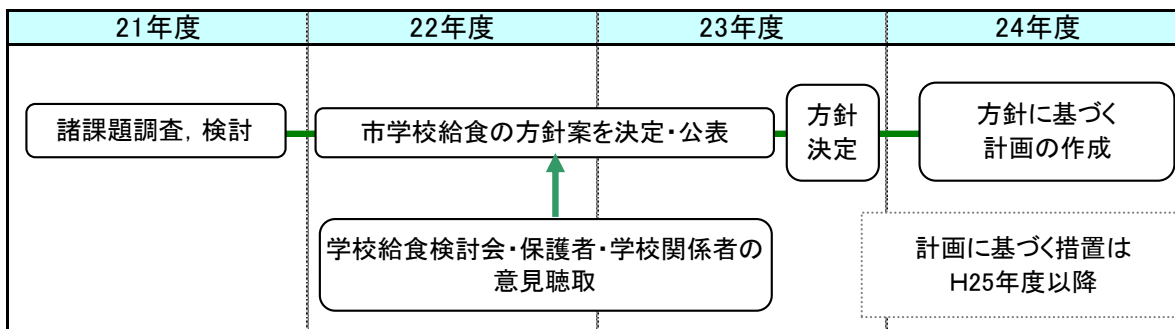


【進捗状況】

浄水場の夜間の運転管理については、平成 23 年4月から 26 年3月までの3か年の長期継続契約を 23 年 1 月に締結した。24 年度以降は、民間委託の技術力を検証しながら土・日曜日、休日の全日委託への拡大に向けて検討している。

5 学校給食調理業務(小学校・自校方式)【学務教職員課】

【取組工程表】



【進捗状況】

自校方式調理場の委託については、当初平成23年度中に策定予定であった今後の市学校給食の基本方針の一つとして位置づけることとしているが、関係機関との協議等の実施に遅れが生じたため、25年度内の策定を目指し作業を行っている。

6 ポンプ場維持管理事業, 終末処理場維持管理事業, 下水管渠施設維持管理事業

【下水道施設管理課】

【取組工程表】

21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
<p><終末処理場維持管理事業></p> <p>・汚泥処理業務</p> <p>委託</p> <p>処理場機能廃止</p>				
<p>・汚水処理業務</p> <p>直営継続</p> <p>処理場機能廃止</p>				
<p><ポンプ場維持管理事業></p> <p>・ポンプ場等遠隔監視・遠隔操作業務</p> <p>委託諸準備</p> <p>委託</p>				
<p>・ポンプ場維持管理業務</p> <p>委託諸準備</p> <p>委託</p>				
<p>・雨水高速処理施設運転管理業務</p> <p>委託諸準備</p> <p>委託</p>				
<p><下水管渠施設維持管理事業></p> <p>・下水管渠施設維持管理業務</p> <p>委託諸準備</p> <p>平成26年度以降可能部分から委託</p>				

【進捗状況】

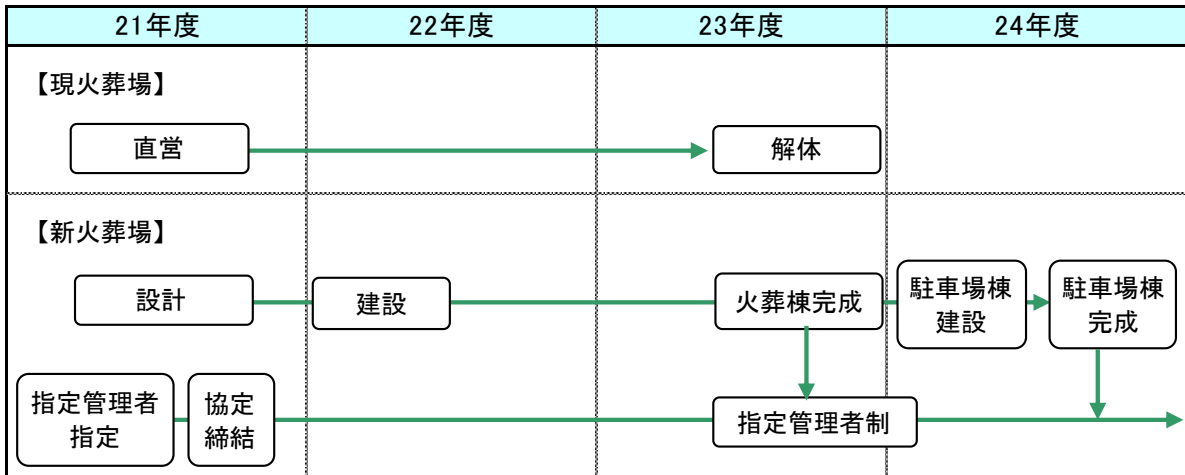
- 終末処理場維持管理事業
 - ・平成 25 年 4 月 1 日に流域下水道へ接続し汚泥処理及び汚水処理業務は終了, 中川原終末処理場は廃止する。
- ポンプ場維持管理事業
 - ・24 年度に完成した雨水高速処理施設の運転管理業務と併せて, ポンプ場等の遠隔監視・遠隔操作業務は 25 年 4 月から委託する。
 - ・ポンプ場維持管理業務については, ポンプ施設の老朽化により, 施設機器の性能が著しく低下し, 機能が十分発揮していない状況から施設の改築更新後に委託する予定である。

- 下水管渠施設維持管理事業
- ・事後保全から予防保全的維持管理に移行することを目指し、平成 26 年度以降可能な部分から段階的に移行する。
 - ・予防保全的維持管理への円滑な移行を図るため、当面、維持班業務は日常点検業務に加えて不明水対策を主体として、苦情要望等及び災害時等の緊急対応を併せて業務を行うものとし、経営状況を見ながら委託と直営業務併用の維持管理業務を検討していく。

II 公共施設の管理運営の方向性について

1 盛岡市斎場やすらぎの丘【市民登録課】

【取組工程表】



【進捗状況】

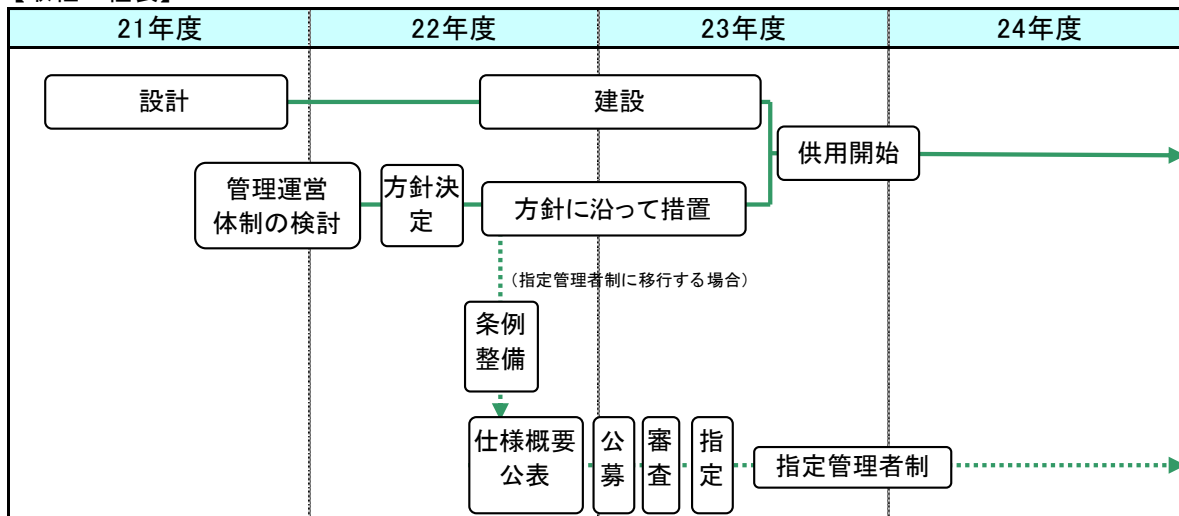
新施設の設計・建設から完成後の維持管理・運営(指定管理者制度)までの一連の業務について、民間活力を導入する DBO 方式により実施することとし、公募型プロポーザル方式により事業者の募集・選定を行い、優先交渉権者に決定した事業者グループと平成 21 年 6 月に基本契約を締結、工事請負契約と指定管理者の指定に係る議案が市議会 9 月定例会において議決され、22 年 7 月に着工した。

東日本大震災の影響により 23 年 11 月予定から 3 か月遅れの 24 年 2 月に火葬棟を部分供用開始するとともに、指定管理者制度に移行した。

なお、24 年 10 月予定から 2 か月遅れの 24 年 12 月に全面供用開始した。

2 盛岡ふれあい覆馬場プラザ【景観政策課】

【取組工程表】

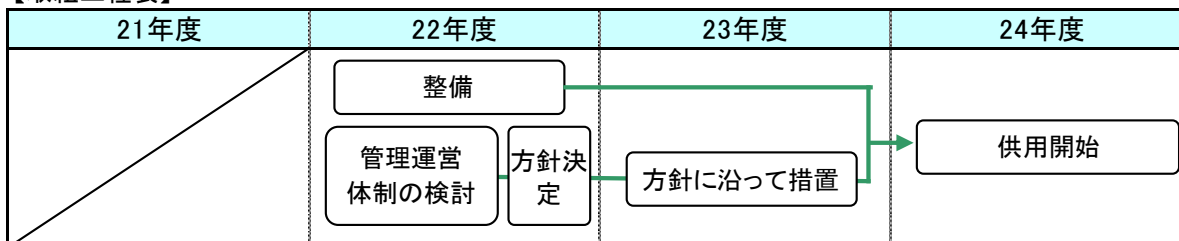


【進捗状況】

当該施設は、東日本大震災による被災により、工程の見直しを行い、平成 24 年5月に完成した。管理運営に関しては指定管理者制度を導入することとし、同年6月1日に、青山地区まちづくり協議会を指定管理者として供用を開始した。

3 築川老人福祉センター・川目児童センター築川分室【高齢者支援室】

【取組工程表】

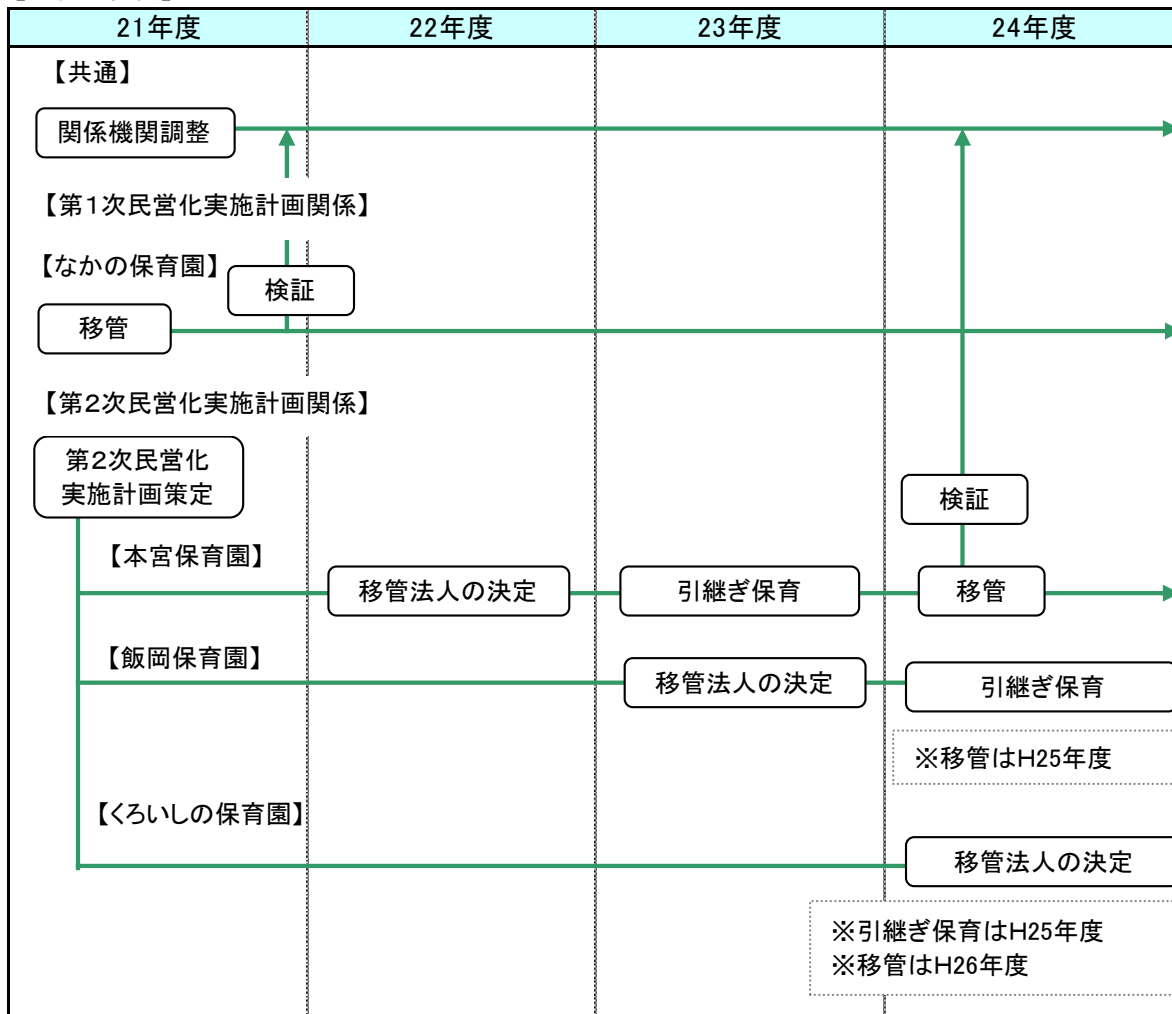


【進捗状況】

センター施設は平成 24 年3月に完成した。管理運営に関しては指定管理者制度を導入することとし、同年4月からは盛岡市社会福祉事業団を指定管理者として供用を開始した。

4 保育所【児童福祉課】

【取組工程表】



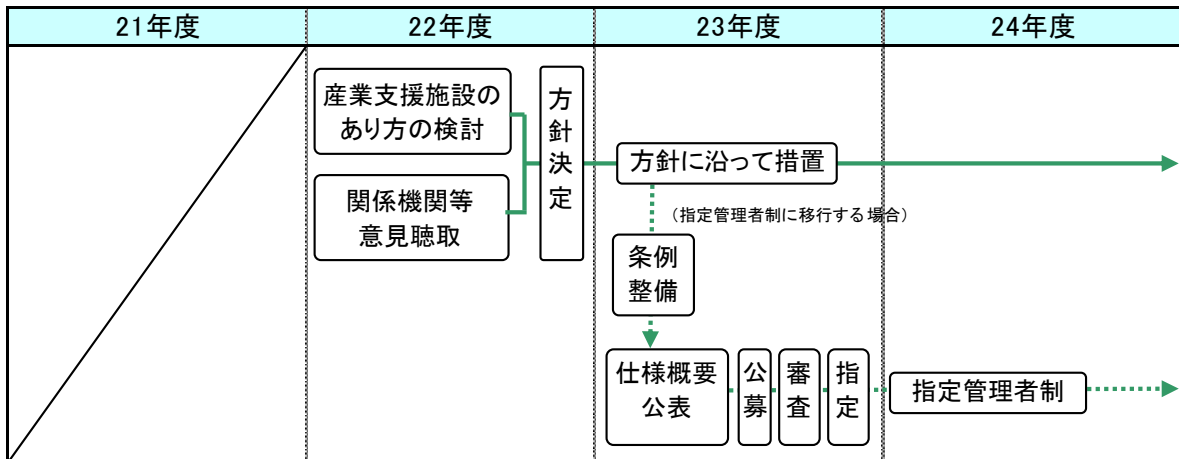
【進捗状況】

本宮保育園については、工程表どおり平成24年4月に民営化した。

飯岡保育園の移管法人については、23年度に決定し、24年4月から引継ぎ保育(移管法人から保育士を派遣。)を実施した。(平成25年4月に民営化予定)

くろいしの保育園の移管法人については、24年8月に決定した。(25年4月から引継ぎ保育(移管法人から保育士を派遣。)実施予定)

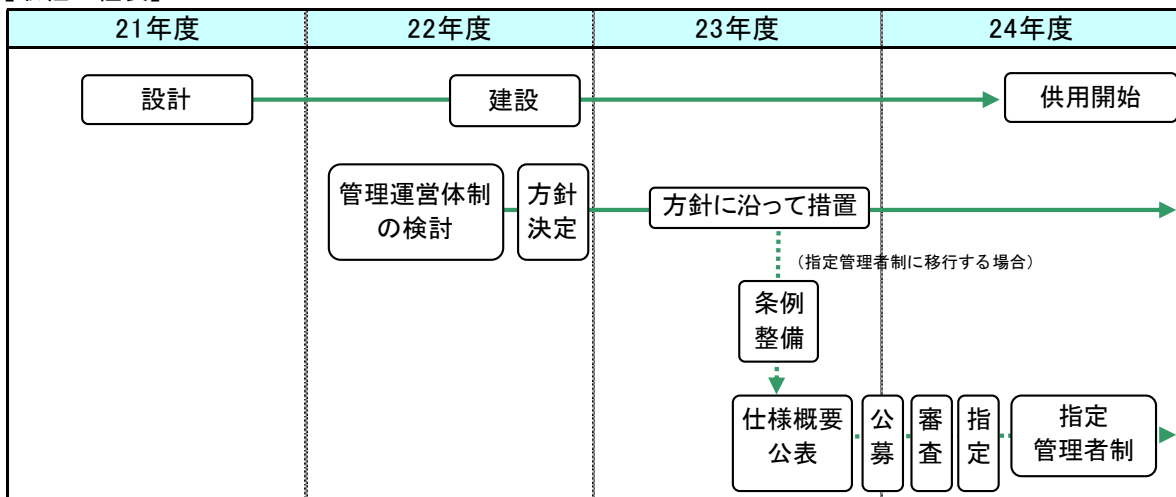
5 産業支援センター【企業立地雇用課】
【取組工程表】



【進捗状況】

平成24年度に指定管理者制度に移行することとし、23年10月議会で条例改正を行った。その後、指定管理者を募集したが、審査の結果、候補者を選定することができなかった。このため、24年度に再度移行の手続きを行い、24年9月に指定管理者候補者を選定し、24年12月議会で指定管理者の指定について可決。25年4月1日から指定管理者制度へ移行する。

6 有機物資源活用施設【産業振興課】
【取組工程表】



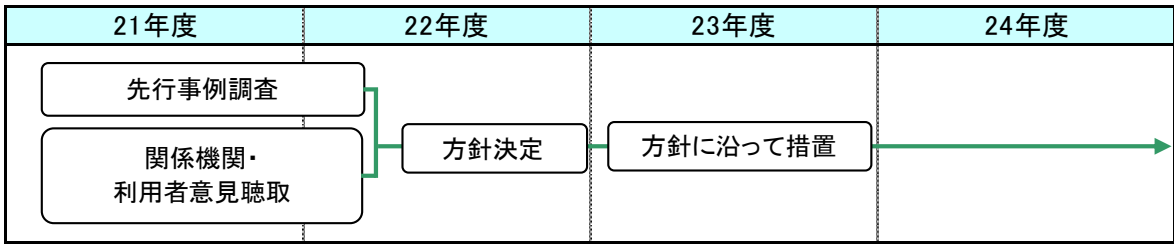
【進捗状況】

平成22年度用地買収、23年度造成工事・建築一期工事を実施、24年度建築二期工事が完了し、25年度より稼働予定である。

なお、管理運営体制については、正職員・非常勤職員の配置により直営で運営することとし、将来的に部分委託による運営も視野に入れ、27年度を目標に施設運営を検討することとしている。

7 川目生活改善センター【農政課】

【取組工程表】

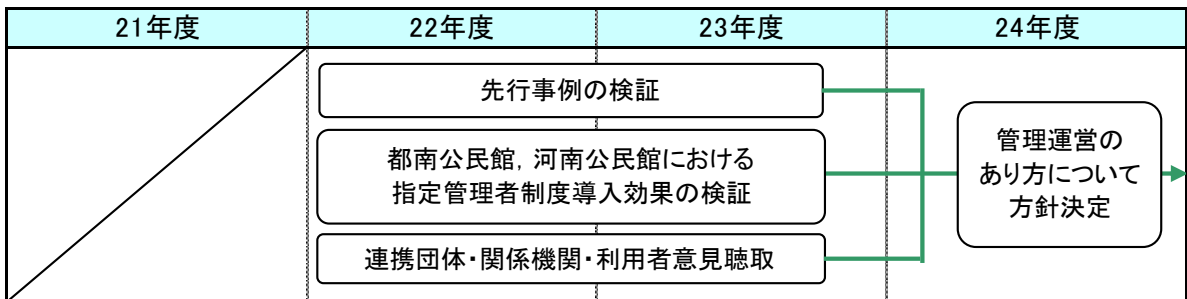


【進捗状況】

平成23年2月末に川目生活改善センターの今後の管理について、地元町内会と協議を行った。
 23年6月末に管理運営を指定管理者が行う方針が固まったことから、10月議会で指定管理移行等に係る条例改正議決後、11月から12月にかけて指定管理者候補者を募集し、1月中旬に指定に係る公開審査を実施した。その後、1月下旬に、指定管理者候補者を決定し、24年3月議会において指定管理者の指定を可決し、24年4月1日から指定管理者制度へ移行した。

8 上田公民館, 西部公民館【生涯学習課】

【取組工程表】

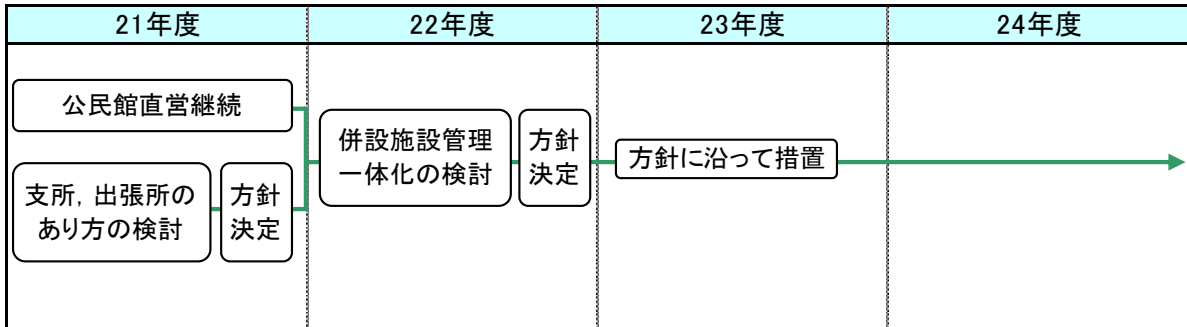


【進捗状況】

指定管理者制度の導入の効果の見極めについて、平成23年度の実施結果及び24年度実施予定事業の比較検討を行ったほか、先行して指定管理者制度を導入した河南公民館・都南公民館の管理運営状況などを見極めながら検討を行った。今後、検討結果を元に、浜民公民館とあわせて25年8月を目途に方針を決定する。

9 飯岡地区公民館・飯岡農業構造改善センター・飯岡体育館/乙部地区公民館・乙部農業構造改善センター・乙部体育館/好摩地区公民館・就業改善センター/玉山地区公民館・玉山生活改善センター・玉山健康増進センター/菟川地区公民館 【生涯学習課】

【取組工程表】

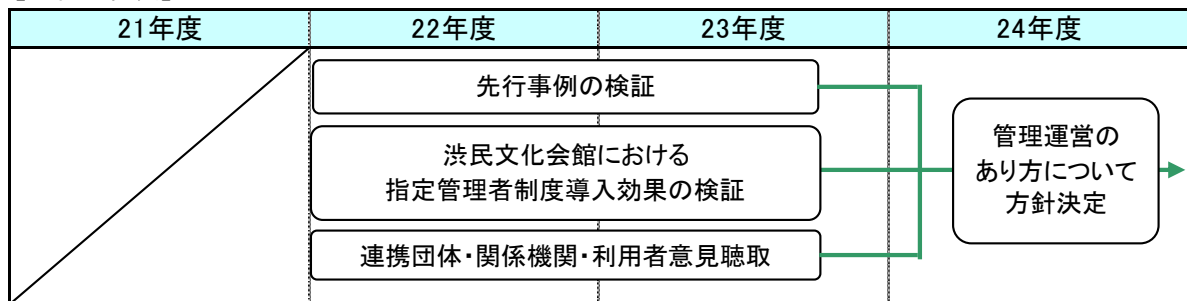


【進捗状況】

併設されている公民館等については、職員は、出張所の併任であることから、指定管理者制度を導入することにより、人的体制が非効率となり、経済的なデメリットが予想されるため、当面直営による管理運営を継続することとした。

10 渋民公民館, 渋民図書館 【生涯学習課】

【取組工程表】

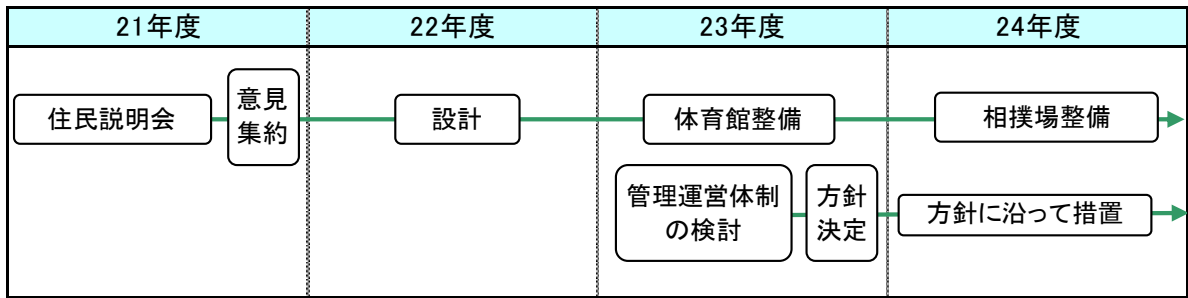


【進捗状況】

渋民公民館については、上田・西部公民館と同様な検証を行った。また、先行して指定管理者制度を導入した河南公民館・都南公民館における管理運営状況についての検証も行ったところである。今後、玉山区地域協議会の意見等も参考にしながら、25年8月を目途に方針を決定する。

11 好摩体育館【スポーツ推進課】

【取組工程表】



【進捗状況】

これまで地域の方々と意見交換をしながら構築してきた整備案を可能な限り実現するため、建築関連規制を踏まえた調整などに時間を要したが、地域の方々の御理解と御協力により、予定どおり設計に着手することができた。

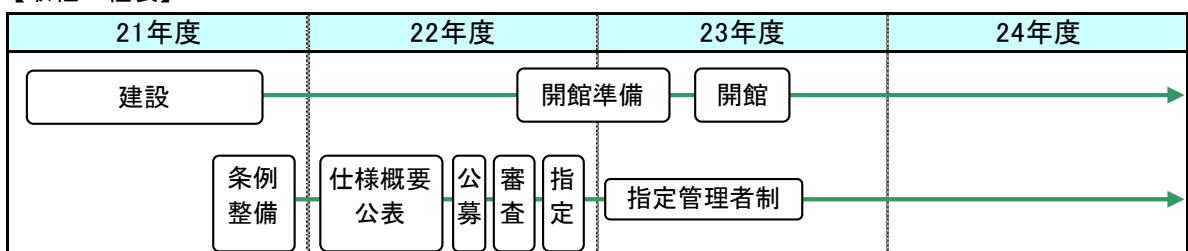
設計に関しては、地域との意見交換会に受託業者も加え、わかりやすい説明に努め、地域の理解を得ながら進めた。

施設整備については、平成23年10月に工事着手し、24年7月に体育館及び相撲場を供用開始した。25年度は、外構工事を行い事業完了の予定である。

また、管理運営体制については、好摩体育館に隣接し、現在、指定管理を行っているテニスコート及び相撲場を含めた効率的な管理体制の検討を行い、指定管理期間である24年度及び25年度は、現行の体制を継続するが、26年度以降については、好摩体育館、テニスコート及び相撲場を一体管理とし、市直営での管理運営体制に見直すこととした。

12 もりおか歴史文化館【歴史文化課】

【取組工程表】



【進捗状況】

施設の建設については、平成20年度から実施し、23年6月完成、7月1日に開館した。

条例整備については、22年3月議会で可決し、22年度に指定管理者の指定の手続きをし、23年4月1日から指定管理を実施した。